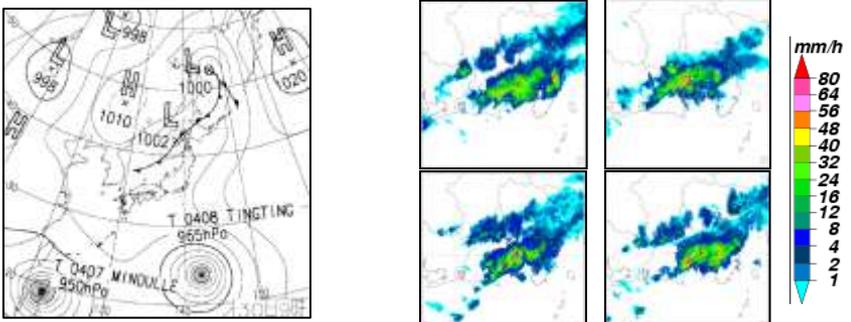


2004年 6月29日～30日 不安定(上空の寒気・気圧の谷、高気圧の縁辺)

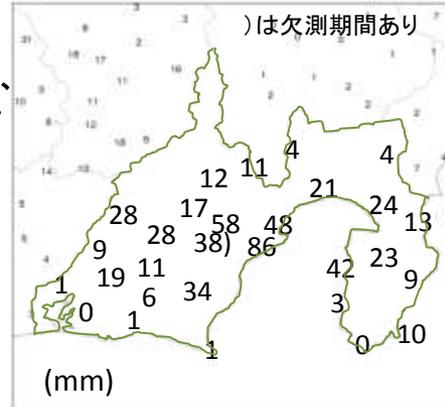
1. 気象経過

29日から30日にかけて上空に気を伴った深い気圧の谷が日本付近を東進していた。一方日本の南海上にある台風や高気圧の縁辺を回り込む暖かく湿った風が日本に吹き込み、大気の状態が不安定となっていた。この縁辺流の強い暖湿流は、29日には東海沖を流れていたが、30日には紀伊半島から県内へと流れ込んだ。このため、西部から中部山沿いの局地的な前線上に線状分布となって積乱雲が次々と発生、発達し、静岡市を中心に記録的な大雨となった。静岡地方気象台では、30日9時21分までの1時間に87.5mmの猛烈な雨を観測したのを始め、30日明け方から昼前にかけて激しい雨が降り続き、日雨量368mmとなって極値1位を更新した(注: 日を跨ぐ24時間雨量極値は1982年7月7日～8日の508mmが極値)。

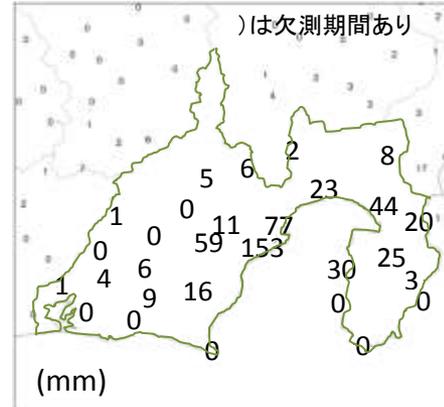


2004年6月30日9時地上天気図 6月30日6時、8時、9時、10時気象レーダー

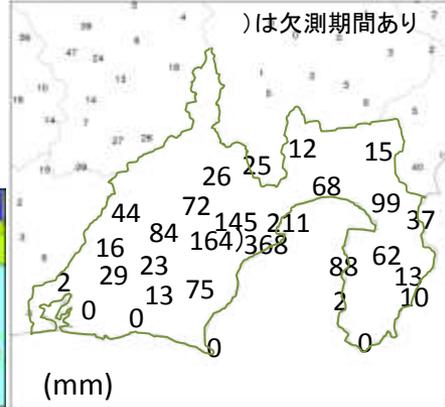
4. アメダス雨量分布図



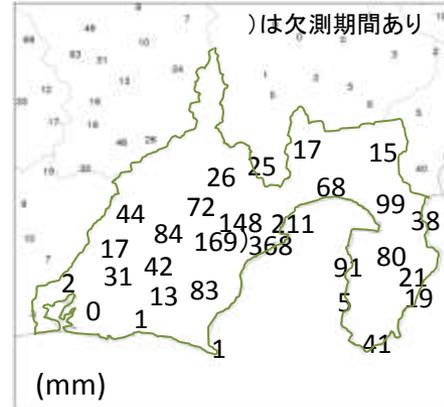
アメダス1時間雨量(正10分毎) 6月30日最大値



アメダス 3時間雨量(正時毎) 6月30日 8時～10時



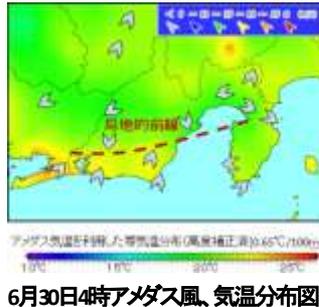
アメダス日雨量 6月30日



アメダス 3日雨量 6月28日～30日

2. 大雨の原因、特徴

29日夜から30日朝にかけては、夜の冷え込みや降雨により岐阜県付近に発生した局地的な高気圧から吹き出される冷たい北寄りの風と沿岸部からの暖かい南西の風により、中部山沿いに局地的な前線が形成されていた。高度1500m付近では風速10m/s前後程度であったことから、県外では雨雲さえまばらであったが、上記条件のあった静岡県西部から中部山沿いのみ雨雲が定期的に発生し、折からの湿った空気により発達。風向や風速に大きな変化がなく、風が弱かったため、静岡市付近に集中的に積乱雲が発生し続けた。また、後日の調査により、大気中層にある乾燥域が流入し、積乱雲をさらに発達させ、猛烈な雨となったことがわかった。以前より、中層乾燥域の働きが、さらなる積乱雲の発達に寄与すると注目され始めており、静岡県でも本事例をきっかけに監視を強化させている。



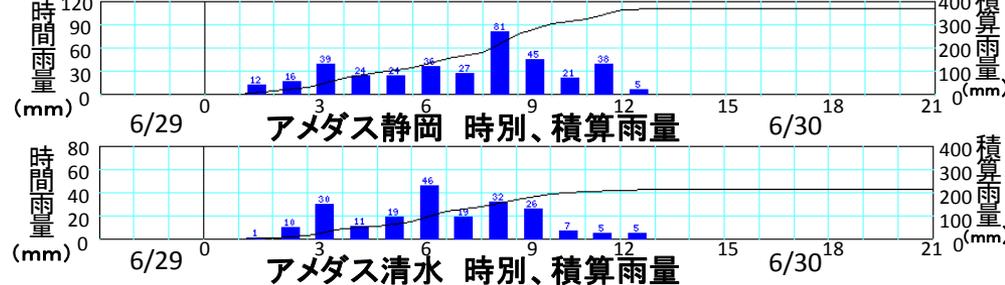
6月30日4時アメダス風、気温分布図

3. 被害概要

	床上	床下	全壊	半壊	一部損壊	死者行方不明	重傷者	軽傷者	罹災者	避難者	停電	断水	一時断水	鉄道不通
	(棟)	(棟)	(棟)	(棟)	(棟)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(カ所)	(カ所)	(カ所)	(カ所)
全県	160	746	0	0	1	0	0	1	30	217	3	206	0	2
中部	160	738	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
東部	0	3	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-
伊豆	0	5	0	0	0	0	1	-	-	-	-	-	-	-

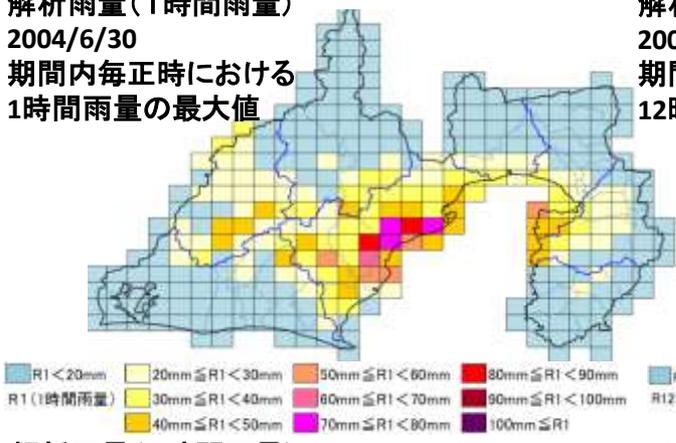
被害数は、静岡県 平成16年における災害の状況による

5. アメダス雨量時系列変化図

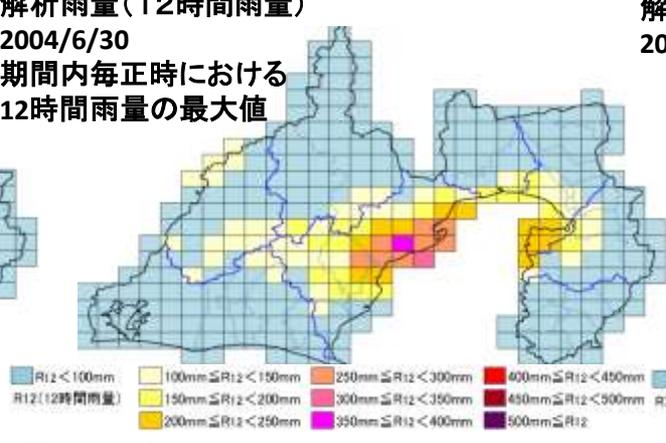


6. 解析雨量分布図

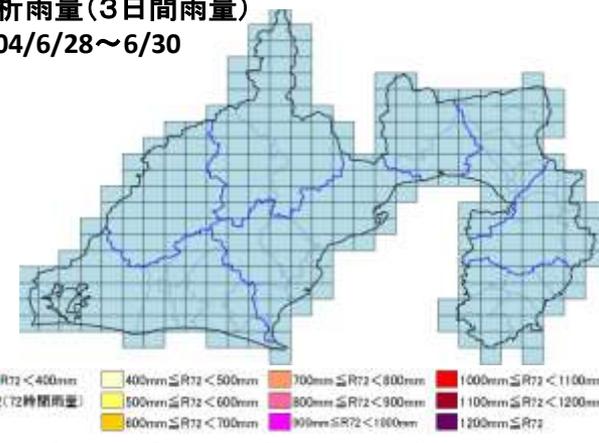
解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30
期間内毎正時における
1時間雨量の最大値



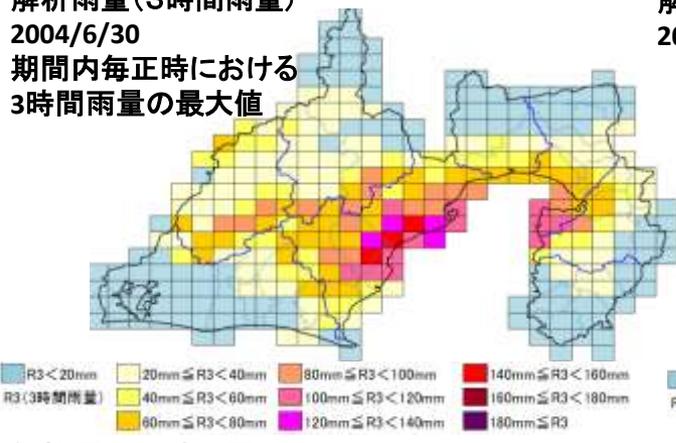
解析雨量(12時間雨量)
2004/6/30
期間内毎正時における
12時間雨量の最大値



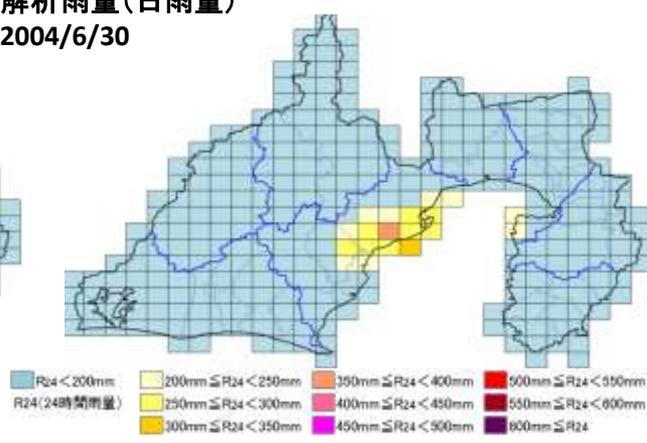
解析雨量(3日間雨量)
2004/6/28~6/30



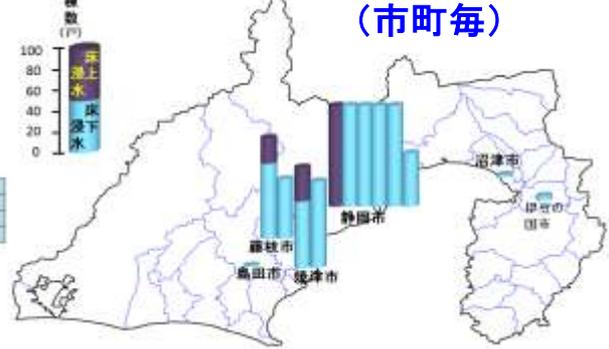
解析雨量(3時間雨量)
2004/6/30
期間内毎正時における
3時間雨量の最大値



解析雨量(日雨量)
2004/6/30

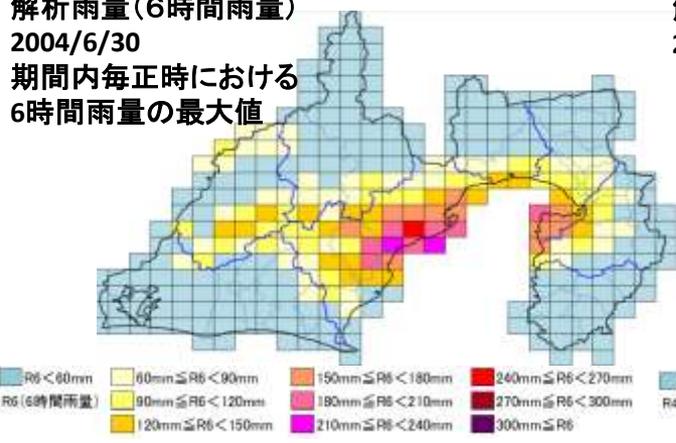


7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)

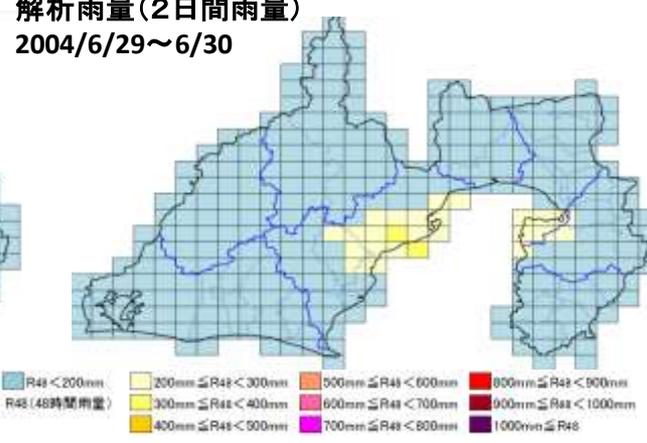


被害数は、静岡県 平成16年における災害の状況による

解析雨量(6時間雨量)
2004/6/30
期間内毎正時における
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)
2004/6/29~6/30



解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

1時間雨量では中部南の広い地域で非常に激しい雨となったが、12時間雨量で見ると、特に静岡市周辺に集中して降っていることが分かる。浸水害も静岡市を中心とした周辺市町に集中して発生している。このように静岡市に集中する大雨は、過去にも2003年7月3日~4日、1982年7月7日~8日(気象庁では命名していないが一般的には七夕豪雨と呼ばれている)などがある。

8. その他の記録

8.1 解析雨量 毎時1時間雨量分布図 6月30日 4時~12時

解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 4時



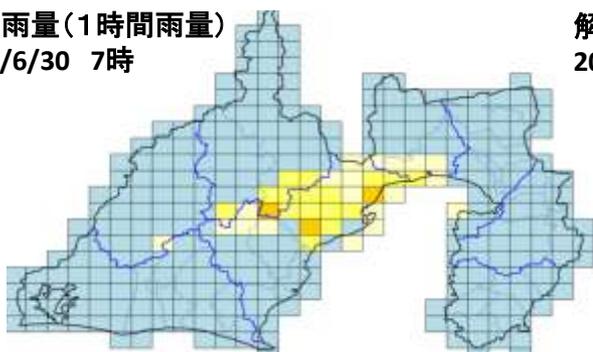
解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 5時



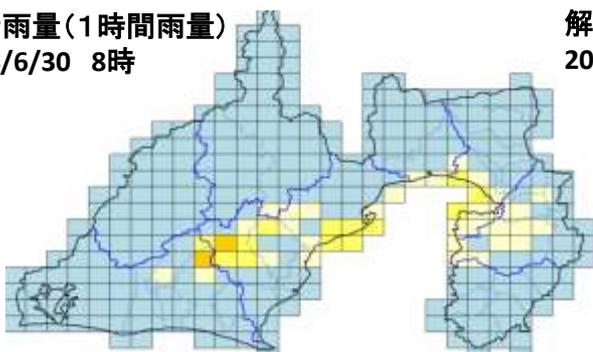
解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 6時



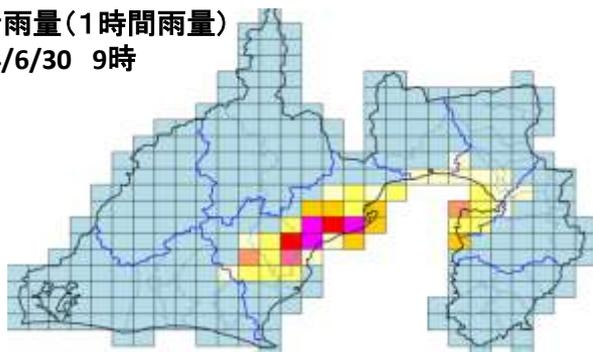
解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 7時



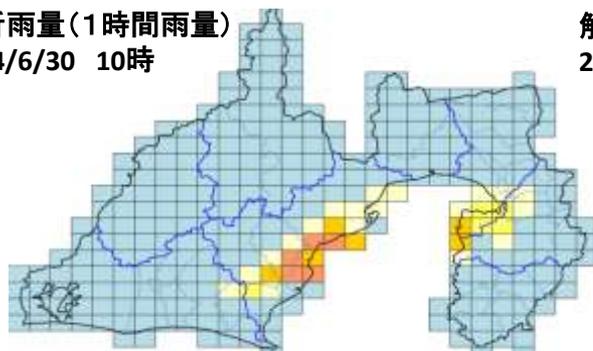
解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 8時



解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 9時



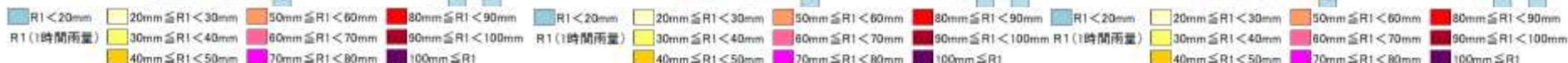
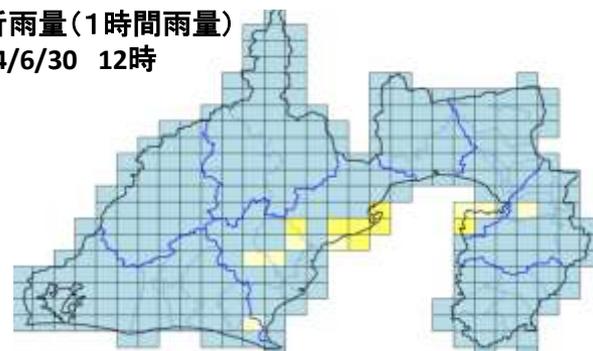
解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 10時



解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 11時

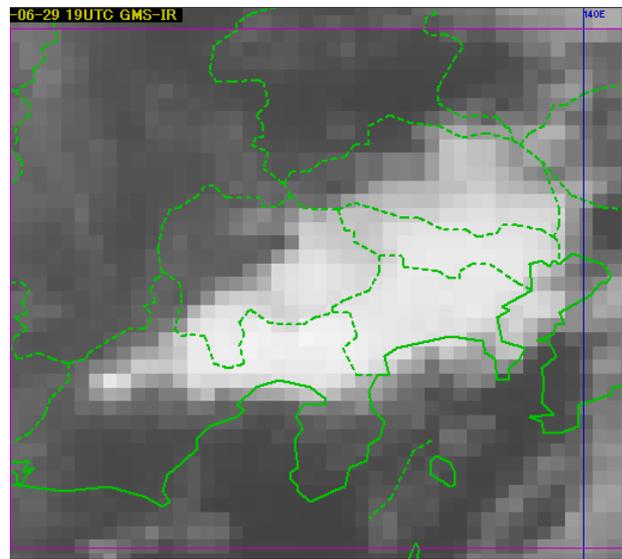


解析雨量(1時間雨量)
2004/6/30 12時



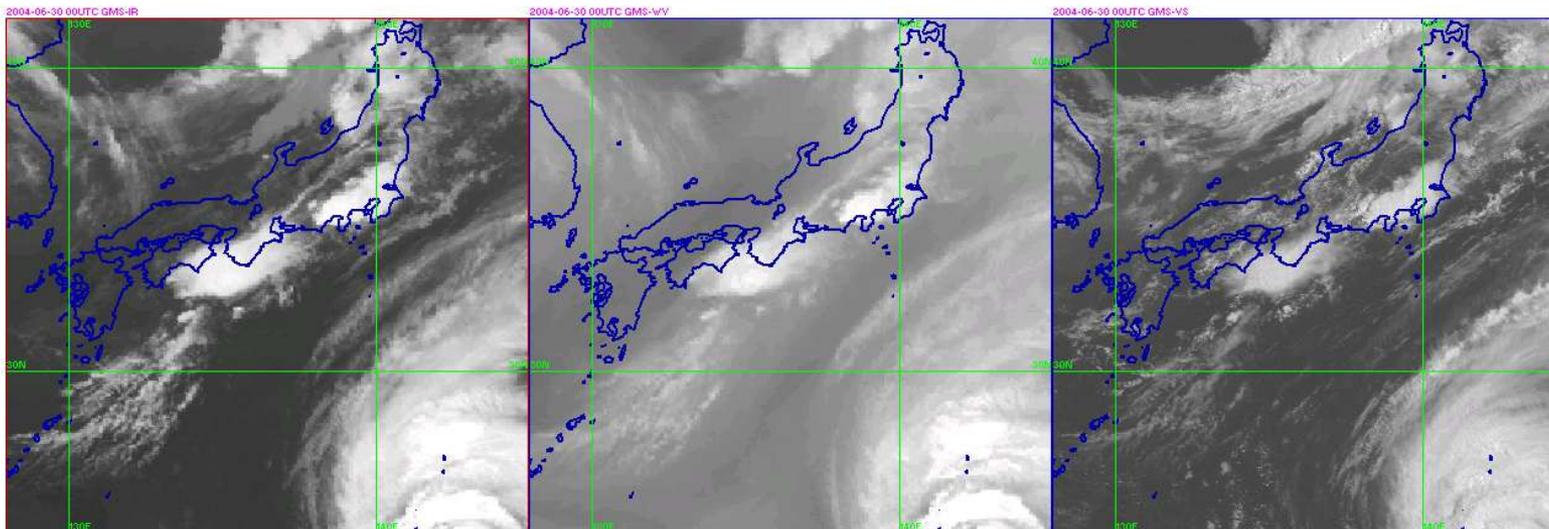
8. その他の記録

8.2 衛星画像



短時間強雨が始まった30日4時に出現したテーパリングクラウド(赤外画像)

テーパリングクラウド(にんじん型の雲)は、積乱雲と対流圏上層の風下側に流されたかなとこ巻雲からなります。テーパリングクラウドの穂先部分では、豪雨、突風、雷、降雹などの顕著現象が発生することがあります。



静岡市周辺で短時間強雨がピークとなった30日9時における
赤外画像(左図)、水蒸気画像(中央図)、可視画像(右図)